

# かわらばん

創刊準備号  
VOL.0



## ～子育て世代 座談会「ゆめ語らって。」～

立山町がこれから整備を予定している防災センター、多目的ホール、児童館、新子育て支援センターの機能を備えた複合施設について、子育て世代の生の声を今後の設計に活かすため、ワークショップ「ゆめ語らって。」を11月29日(月)と30日(火)の午前中、立山子育て支援センターで開催しました。

両日とも、施設への熱い思いやアイデアが飛び交う楽しい会となりました！



「ういじい登場」子ども達にも大人気！

### 設計チームより プロポーザル案の紹介

決定したプラン  
ではありません！



私達がプロポーザル(設計者の選定方式)時に提案したのは、**多世代が集い、憩い、語らう交流の拠点**をつくることです。目的がなくても気軽に立ち寄れる場、生活の一部になったらいいなと考えました。

建物イメージは、雄大な**立山の風景**と**柔らかく有機的につながるデザイン**。

町民の活動、姿が映る大きな**縁側のような場所**をつくりたいと思います。



今回整備するのは、**防災センター、多目的ホール、児童館、新子育て支援センターの4機能**を持った複合施設。将来、隣に新しい町役場も建つ予定。

建物の外には、低学年と未就学児、それぞれが安全に遊べる広場をつくります。

また、将来的に役場ともつながる**雁木空間**は、雨や雪の時でも濡れないスペース。建物を囲む空間は、祝祭空間や防災広場としても活用できるようにします。

この建物のポイントになるのは、**大きなハコの中に小さなハコを点在**させる形。大きなハコは交流や出会いの場、小さなハコは活動の場に。隣り合うことで、いろんなものが連鎖していくといいと思います。

**防災センターは普段は多目的ホール**として使い、災害時には避難所として使います。ホールと児童館は分けたり、一体的に使うこともできるようにします。南北の



間仕切りを開放すると、立山連峰が望めます。**ホールと外空間を一体化**し、マルシェなどもできたらいいと思います。

**児童館、子育て支援センターは、共用部の図書コーナーを中心に各部屋が**つながっていて**可変する建具を開けると**

**1つの空間**になります。



「みんなでつくるワークショップ」を継続して、オープン後の**町民の活動へとつながっていく**といいと思います。

## グループトーク(座談会)

2日間の座談会でいただいた参加者のみなさんの声(ご意見、ご提案)を**項目別に整理**してみました。



### 遊具・遊び場

- ・子どもはふわふわドームが大好き。イチオシしたい！
- ・室内にアスレチックやトランポリンなど親子で遊べる遊具を
- ・ネット遊具がロフトと絡むとおもしろい
- ・外の遊具を定期的に入れ替えてきたい(サブスク)
- ・いろんな木のおもちゃがあるといい
- ・子どもが遊ぶ遊具の廻りに大人が座るベンチがほしい
- ・室内で走ったり、ボール遊びができる広いスペース
- ・親子でじゃぶじゃぶ遊び(水遊び)ができる水場
- ・屋外には芝生広場がほしい
- ・子どもが飛び出すので柵の設置など安全面にも注意



### 飲食

- ・子どもにおやつをあげたり、親子でご飯が食べられる場
- ・くつろげるカフェ
- ・コンビニ、まちなかファームとの連携があるといい
- ・体に良い、手作りの離乳食、食べ物なども買えるといい



### 異年齢の棲み分け・混じり合い

- ・小さい子と幼児～小学生のスペースを分けられるといい
- ・乳幼児から中高生までの混じり合いがよい
- ・子どもの視点、パーソナルスペース(おひとりさま用のスペース)やデン(ちいさな居場所)の作り込み

## 授乳・おむつ替えスペース・トイレ

- ・男性がミルクをあげられる授乳スペースに
- ・お昼寝や授乳の際、小上がりの座敷のようなプライバシーを確保できる静かな空間
- ・おむつ替えコーナーにおもちゃがあるといい
- ・授乳室やミルク台等を設けてほしい
- ・WCの中に子どもを座らせる椅子
- ・子どもトイレは男女が入られる工夫



## 床

- ・床暖房があるとよい
- ・ベビーカーや乳母車でそのまま入れる土間空間
- ・走ったりしたときに、足音が響かない床
- ・転んでも大丈夫な、固くない床
- ・カーペットは感染症対策としては不安。木育としてのフローリングやメンテナンスしやすいシートに



## デザイン

- ・立山らしい木をふんだんに使った施設に(天井など)
- ・立山杉など地元ならではのブランドを取り入れて
- ・色彩計画に配慮。全体をピンクにしたりしないでほしい
- ・トータルコーディネートに期待。カッコイイ施設に！



## エントランス・駐車場

- ・駐車場から雨に濡れずにアプローチできる
- ・玄関には靴脱ぎ用のベンチがあると良い
- ・入口の段差は危険。自動ドアだと良い
- ・子育て支援センター専用駐車場だと色やサインでわかるように
- ・壁に子どもを誘導する仕掛けがあるとよい



## 子育て支援サービス

- ・気軽に子育て相談などができるよう、保育士が常駐
- ・短時間保育サービス



## イベント

- ・イベントがたくさんあるとうれしい
- ・週末にワークショップがあるといい
- ・季節ごとに地元の方と一緒に楽しめるイベント

## パパも来やすい

- ・パパが来やすい施設づくり
- ・土日はパパと赤ちゃん向けなど、ママ以外の人たちが過ごせるイベント
- ・パパが集える場所、パパ教育の場にもなるといい



## 管理運営

- ・管理運営する人にも使いやすい施設
- ・支援者育成、スタッフ向けのスペース
- ・参加しやすい工夫、入りやすさが必要
- ・IT管理を導入しては？
- ・宿泊室があるとよい。防災への展開性もある



舟橋町長

二十数年前、妻と子どもを抱えてこちらにUターンしてくる前に住んでいた都市部には、立派な児童館があり、立山町にもこのような場所をつくりたいと思いつけておりました。良い施設にするため、これからもいろんな意見を聞かせて下さい！

## アンケートより

明るい町の未来が見えたようでうれしかった。

少人数ワークショップでしたが、たくさんの方の見方・考え方ができておもしろかったです。

立山町が、住みやすい楽しい町にしようとしていることが分かり町民としてうれしい。

子育てしているママ達の生の声を出して、計画に生かすことで、より良い人の集まる施設になると思いました。とても楽しかったです。

他の方と意見を交わす事で具体的なアイデアも生まれました。町民もアイデア出しから関わることで、より愛着のある施設になるだろうと感じた。

ワクワクする施設ができたらいいなというママさん達の気持ちが伝わってきてうれしかったです。このまちで暮らしやすい仕組み、支援ができれば、県外からも立山町に人が来るようになるのかなと思いました！



ゲストの内山さん  
(はっぴーママ編集長)

立山町役場 企画政策課 (中川・牧田)

☎: 076-462-9980 (直通)

✉: kikaku@town.tateyama.lg.jp